



第98号

発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一
事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

福井しあわせ元気国体いよいよ本年秋に開催！

選手強化は総仕上げに全力

国体実行委員会も本番準備を着々実施

福井県剣道連盟の第四回理事会が三月七日（水）に、臨時評議員会が三月十八日（日）に開催され、平成三十年度の事業計画および収支予算案の審議がなされました。

福井しあわせ元気国体が、いよいよ本年秋に開催されます。残り半年間、選手強化の総仕上げに全力を上げます。

成年男女は、毎週火・木・土の強化稽古会に加え、関東や九州、大阪府警・京都府警等への遠征を実施。

少年男女は、毎週火曜日の強化稽古会に加え、岡山、京都、九州等への県外遠征を毎月行います。また、国体で審判を務められる全剣連の先生方を講師に招いた稽古会を開催し、実戦的な指導をいただきます。

各地区連盟の役員の皆さんにおかれましては、ぜひとも強化練習会に

足をお運びいただき、選手の激励をお願いいたします。剣道競技の総合優勝に向け、選手、監督、役員をはじめ、本連盟が一体となって全力を注いでまいります。

国体実行委員会では、受付案内班、輸送班、宿舍班、接伴班等の総務部および審判委員、記録委員、式典表彰委員等の競技部の委員構成を最終確定するとともに、記録、競技、式典、総務等の部門ごとの打ち合わせ会を順次実施し、大会運営を滞りなく行うため、準備を入念に進めてまいります。

◎福井国体に向けた選手強化費および大会運営費確保のため、特別協力資金の追加ご協力をお願いします！◎

平成二十五年度から平成二十八年の四年間にわたり、会員の皆様にご支援をお願いしてまいりました

「平成三十年第七三回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力資金」について、当初の計画としては、国体開催に必要な経費を約三千万円とし、本連盟の保有資金一千五百万円と、会員の皆様からの特別協力資金を一千万円ご協力いただく見込みでありました。

しかしながら、四年間に会員の皆様からご支援いただいた資金は、約七八〇万円であり、当初の目標額に対し、大きく不足している状況です。

また、平成二十四年度から二十八年度まで、本連盟の一般会計から計五百万円を国体資金として繰り入れてまいりましたが、近年国体を開催した先催県の情報を踏まえ、現時点において、国体の運営資金が約五百万円不足する見通しです。

このため、三月の理事会および臨時評議員会において審議いただいた結果、会員の皆様に、平成三十年度にさらにもう一度、特別協力資金のご支援をお願いすることになりました。

つきましては、福井国体の開催を何としても成功に導くため、平成三十年度分特別協力資金について、なにとぞ皆様のご支援をお願いいたします。

さらに、本連盟として、福井国体開催記念の手ぬぐい（面タオル）を作成・販売し、国体資金に加える計

画であります。皆様におかれましては、諸費ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、福井国体の実施に向けて格別のご高配とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



堀江範雄先生 県体協体育功労者賞を受賞

平成二十九年度の「公益財団法人福井県体育協会 体育功労者賞」に、県内二十五団体三十名の方が選ばれました。福井県剣道連盟からは、常務理事の堀江範雄先生が受賞され、一月十二日に福井県営体育館で行われた表彰式において、表彰状が授与されました。



大会報告行事報告

福井県剣道連盟
剣道・居合道 初稽古

平成三十年一月七日(日)
於 福井県立武道館
平成三十年の福井県剣道連盟「剣道・居合道 初稽古」が、一月七日に福井県立武道館において開催されました。

県内各地区から、小学生、中学生、高校生、一般、計約一二〇名が参加しての稽古会となりました。

剣道は剣道大道場で、全員での素振りの後、一般の先生方が元に立って小中高生が掛かる指導稽古、小中高生や一般同士の地稽古と、気合十分に稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、形の稽古など、緊張感の溢れる稽古を行いました。

参加者は今年一年の精進を誓い、気持ち新たにしていきました。

また、初稽古に先立ち、昨年十一月三日に全日本剣道連盟の剣道有功



賞を受賞されました福井県学校剣道連盟参与 鈴木治磨先生の伝達

表彰式ならびに福井県剣道連盟優秀選手賞の表彰式が行われ、片山会長から賞状と記念品が授与されました。



【全日本剣道連盟 剣道有功賞】

鈴木 治磨

(福井県学校剣道連盟参与・丹生地区剣道連盟顧問)

【福井県剣道連盟優秀選手賞】

(第六十五回 全日本剣道選手権

大会 第三位)

林 田 匡 平

(第十六回お通杯 宮本武蔵顕彰

女子剣道大会 一〇一歳以上の部

第三位)

福井県A

高 嶋 寿 美

橋 本 一 美

伊 藤 藍 子

(第三十回 全国健康福祉祭あきた大会 第三位)

福井県

小 西 清 光

奥 井 俊 雄

吉 田 淳 夫

前 田 宗 昭

上 嶋 啓 芳

(第五十九回北信越学生優勝大会 準優勝)

福井工業大学女子

久 島 早 紀

木 村 優 希

飯 塚 麻 貴

清 水 綾 乃

迎 田 真 由

福 崎 ひ かり

八 幡 明 依

林田匡平選手 第六十五回

全日本剣道選手権大会三位入賞

祝賀会

平成三十年一月七日(日)

於 福井アカデミアホテル

昨年十一月三日に日本武道館で行

われた第六十五回全日本剣道選手権大会において、本県の林田匡平選手が見事三位に入賞されたことを祝し、剣道連盟主催の祝賀会が開催されました。

林田選手には、片山会長から福井国体での活躍、そして世界選手権大会への出場を期待するとともに、福井県剣道界を担う指導者として将来にわたって少年の育成に携わっていただきたいとの言葉がかけられ、記念品として剣道具の目録が贈られました。

林田選手は、今後ますますの精進と福井国体、世界選手権大会に向けた力強い決意の言葉を述べられました。

また、参加された五十余名のご来賓、連盟の役員、会員の方々からも次々とお祝いの言葉がかけられ、祝賀会は盛会のうちに終わりました。



平成二十九年 度福井県 中学校冬季剣道強化錬成大会

平成三十年一月二十日(土)
於 敦賀市立体育館
一月二十日に敦賀市立体育館にお
いて開催。結果は次の通り。

(男子の部)

準決勝戦

三方中 2 | 2 中央中
(本数勝ち)

鯖江中 0 | 2 明倫中

三位決定戦

中央中 3 | 2 鯖江中

決勝戦

三方中 3 | 2 明倫中



(女子の部)

準決勝戦

中央中 3 | 2 春江中

坂井中 2 | 1 森田中

三位決定戦
春江中 3 | 0 森田中
決勝戦
中央中 3 | 0 坂井中



平成二十九年 度福井県 高等学校冬季剣道選手権大会

平成三十年一月二十一日(日)
於 福井県立武道館
一月二十一日に福井県立武道館に
おいて開催されました「平成二十九
年度福井県高等学校冬季剣道選手権
大会」の試合結果は次のとおりです。

○男子個人

- 優勝 谷口 貴大 (敦賀高校)
- 二位 八幡桂志朗 (丸岡高校)
- 三位 北島 正貴 (丸岡高校)
- 三位 内田 大樹 (敦賀高校)



○女子個人

- 優勝 小玉 藍 (高志高校)
- 二位 田辺 有羽 (敦賀高校)
- 三位 池端 優希 (丸岡高校)
- 三位 吉田 花生 (丸岡高校)

平成二十九年 度 北信越高等学校剣道新人大会

平成三十年二月三日(土)～四日(日)
於 富山県砺波市庄川体育センター
二月三日(土)、四日(日)に富
山県砺波市庄川体育センターで開催
されました「平成二十九年 度北信越
高等学校剣道新人大会」において、
敦賀高校女子が団体優勝、敦賀高校
男子および丸岡高校男子が三位入賞
を果たしました。本県から男子4チ
ム、女子5チーム、北信越5県で男
女各24チームが出場しました。

試合結果は次のとおりです。

○男子予選リーグ

敦賀 2 | 2 高岡工芸
(敦賀が本数勝)

敦賀 1 | 0 新潟第一
(決勝トーナメントへ)

丸岡 3 | 0 富山工業
丸岡 2 | 0 新潟商業
(決勝トーナメントへ)

北陸 2 | 3 砺波
北陸 2 | 1 金沢市立工業
(予選リーグ敗退)

美方 1 | 4 長野
美方 0 | 5 富山
(予選リーグ敗退)

○男子決勝トーナメント

準々決勝

敦賀 1 | 1 金沢
(敦賀が代表戦で勝ち)

丸岡 2 | 2 長野日大
(丸岡が本数勝)

準決勝

敦賀 0 | 2 新潟明訓
丸岡 1 | 2 龍谷富山

○男子団体

優勝 新潟明訓高等学校
(新潟県)

準優勝 龍谷富山高等学校
(富山県)

第三位 敦賀高等学校 (福井県)
第三位 丸岡高等学校 (福井県)

○女子予選リーグ

敦賀 3-0 金沢

敦賀 2-0 新潟第一

(決勝トーナメントへ)

美方 1-2 三条

美方 0-1 高岡工芸

北陸 0-2 金沢桜ヶ丘

北陸 0-2 松代

丸岡 3-1 富山中

丸岡 0-2 佐久長聖

高志 1-1 高岡

高志 0-2 羽咋

(予選リーグ敗退)

(予選リーグ敗退)

(予選リーグ敗退)

○女子決勝トーナメント

準々決勝 敦賀 3-0 富山北部

準決勝 敦賀 3-1 五泉

決勝 敦賀 4-0 佐久長聖

○女子団体

優勝 敦賀高等学校 (福井県)

準優勝 佐久長聖高等学校 (長野県)

第三位 五泉高等学校 (新潟県)
第三位 高岡工芸高等学校 (富山県)



第12回福井県ジュニア育成強化剣道大会

平成三十年二月四日(日)

於 福井県立武道館

一年生の部

優勝 熊谷 薩馬 福井養正館

準優勝 北嶋 晶 坂井剣道スポーツ少年団

第三位 川崎 一志 芦原少年剣道教室

第三位 木谷 珠美 松岡少年剣道教室

第三位 松岡少年剣道教室

二年生の部

優勝 山口 海司 織田剣道スポーツ少年団

準優勝 岸本 好誠 武生南剣道スポーツ少年団

第三位 崎元 煌太 福井養正館

第三位 岩崎 吏生 越前少年剣道クラブ

優 勝 森 三志朗 鯖江剣道スポーツ少年団

準優勝 八幡 優 武道学園剣道教室

第三位 林 由佳 鯖江志士樹館道場

第三位 松口直次郎 福井養正館

四年生男子の部

優 勝 矢田部 晁 織田剣道スポーツ少年団

準優勝 伊藤児太郎 木田剣道スポーツ少年団

第三位 前田 恭吾 福井養正館

第三位 奥平 大貴 丸岡剣道スポーツ少年団

四年生女子の部

優 勝 森谷 栞帆 王子保スポーツ少年団剣道部

準優勝 吉村 悠里 坂井剣道スポーツ少年団

第三位 小矢 結貴 小浜少年剣道教室

第三位 西 幸子 新風館愛宕坂道場

優 勝 山下 慶也 王子保スポーツ少年団剣道部

準優勝 東海 来夏 福井養正館

第三位 廣部 祥大 新風館愛宕坂道場

第三位 藤田 元基 五常館

五年生男子の部

優 勝 山田 優生 福井今立道場

準優勝 大西 羽未 福井今立道場

第三位 忠住 理子 松岡少年剣道教室

第三位 前田 梨帆 福井少年剣道クラブ

六年生男子の部

優 勝 守 大翔 鯖江剣道スポーツ少年団

準優勝 豊田 大輔 福井少年剣道クラブ

第三位 宮嶋 凜太 武道学園剣道教室

第三位 森 陽輝 鯖江剣道スポーツ少年団

六年生女子の部

優勝 下中 沙友

準優勝 木田剣道スポーツ少年団

大辻悠夏

第三位 芦原少年剣道教室

大石咲色

新風館愛宕坂道場

第三位 杉原歩佳

鯖江志士樹館道場

第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会および第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会

平成三十年二月二十五日(日)

於 福井県立武道館

二月二十五日(日)に福井県立武道館で開催されました「第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 福井県選手選考会および第10回全日本都道府県対抗女子剣道大会 福井県選手選考会」の結果は次のとおりです。

各地区剣道連盟から推薦された男女計56名が熱戦を繰り広げました。各部門の1位が代表選手として選考されました。

男子の全日本優勝大会は四月二十九日に大阪市のエディオンアリーナ大阪で、女子の全日本優勝大会は七

月十四日に東京都の日本武道館で開催されます。

【第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○先鋒(高校生)

一位 谷口 貴大(敦賀高校)

二位 北島 正貴(丸岡高校)

三位 内田 大樹(敦賀高校)

三位 田崎 健斗(敦賀高校)

○次鋒(大学生)

一位 児島 歩(福井工業大学)

二位 深美 卓(福井工業大学)

三位 小荒 浩夢(金沢大学)

三位 大越 和貴(国士館大学)

○五将(一般 18歳以上35歳未満)

一位 富田 成慈(鯖江地区)

二位 木瀬 將盛(福井地区)

三位 軽部 有輝(越前地区)

三位 澤田 祥正(大野地区)

○中堅(教職員)

一位 林田 匡平(福井地区)

二位 西川 航平(南条地区)

三位 久保田広行(敦賀地区)

三位 山田 英典(越前地区)

○三将(警察職員)

一位 金子 亮介(県警機動隊)

二位 山崎 由樹(県警機動隊)

三位 内藤 洋(県警機動隊)

三位 鹿本 裕登(県警機動隊)

○副将(一般 35歳以上)

一位 畑 祐一郎(鯖江地区)

二位 川村 信也(福井地区)

三位 脇本 一誠(福井地区)

三位 相模宏二郎(福井地区)

○大将(50歳以上 剣道教士7段以上)

一位 小辻 淳二(敦賀地区)

二位 中村 英紀(敦賀地区)

三位 堀江 範雄(坂井地区)

三位 柳原潤一郎(福井地区)



【第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○次鋒(大学生)

一位 坂本 菜子(国士館大学)

二位 八幡 明依(福井工業大学)

三位 山崎 愛華(福井県立大学)

三位 飯塚 麻貴(福井工業大学)

○中堅(18歳以上35歳未満)

一位 大西ななみ(筑波大学4年)

二位 伊藤 藍子(坂井地区)

三位 内山田 楓(福井地区)

○副将(35歳以上45歳未満)

一位 高嶋 寿美(福井地区)

二位 山田 聖子(越前地区)

三位 橋本 一美(坂井地区)

○大将(45歳以上)

一位 森 宜子(鯖江地区)

※1名のため、予選の試合はなし
※先鋒(高校生)は六月に選考予定

第40回全国スポーツ少年団 剣道交流大会

平成三十年三月二十五日(日)〜

二十七日(火)

於 東京武道館

中学生女子個人戦

福井養正館 南元 優那

中学生として出場する最後の大会が今回の全国スポーツ少年団剣道交流大会となりました。この全国大会で、一本を決めきることの大切さを学び、実感することが出来ました。打つべき機会をとらえ、打つことは出来ました。しかし、一本にはなり



よかったです。
試合は、一勝一敗で予選リーグ敗退と結果は残念でしたが、次の大会に向けての反省にできたのでよかったです。まだまだ弱いのでこれから

中学生男子個人戦
福井養正館 奥村 龍也
この全国大会に出させていた、良い経験が沢山できました。交流会では多くの県の人と触れあえ、友達も沢山でき、剣道の話や中学校生活の話もたくさんできたことは本当によかったです。

ませんでした。声、足、打ちの強さ、全てが揃った技ではなかったため、一本にならなかったんだと思います。延長戦まで行い、負けてしまい、とても悔しい気持ちが大きいです。でも、たくさん学ぶこと、また、今までより足の動いた試合ができたのでよかったです。この経験を次の高校剣道へ繋げていけるようにしたいと思います。

も稽古をしっかりとしていき、次は勝てるように頑張りたいと思います。

第27回全国高等学校 剣道選抜大会

平成三十年三月二十六日(月)～

二十八日(水)

於 愛知県春日井市総合体育館
三月二十六日から二十八日に愛知県春日井市総合体育館において開催されました「第27回 全国高等学校剣道選抜大会」の試合結果は次のとおりです。



男子団体

1 回戦 敦賀 2-1 東海大仰星(大阪)

2 回戦 敦賀 0-0 名古屋大谷(愛知)
代表戦で勝ち

3 回戦 敦賀 0-1 島原(長崎)
結果：ベスト16

女子団体

1 回戦 敦賀 0-1 帝京第五(愛媛)

地区連盟だより

第41回

福井地区少年剣道錬成大会

平成二十九年十月二十二日(日)

於 福井県立武道館

団体試合成績

- 優勝 武道学園剣道教室
- 第二位 木田剣道スポーツ少年団
- 第三位 松岡少年剣道教室
- 第三位 江守の里少年剣道教室

個人試合成績

- 4年生以下の部
 - 優勝 伊藤児太郎 (木田剣道スポーツ少年団)
 - 第二位 前田耀太郎 (江守の里剣道教室)
 - 第三位 吉田 幸器 (五常館)

第三位 長山 侑生 (木田剣道スポーツ少年団)

5年生男子の部

- 優勝 藤田 元基 (五常館)
- 第二位 安達 一識 (木田剣道スポーツ少年団)
- 第三位 鈴木 陸史 (福井東部少年剣道教室)
- 第三位 廣部 祥大 (新風館愛宕坂道場)

6年生男子の部

- 優勝 三船胡太郎 (五常館)
- 第二位 萩原 徳紘 (福井東部少年剣道教室)
- 第三位 吉村 泰一 (五常館)
- 第三位 笠嶋 洸瑠 (木田剣道スポーツ少年団)

5、6年生女子の部

- 優勝 大石 咲色 (新風館愛宕坂道場)
- 第二位 下中 紗友 (木田剣道スポーツ少年団)
- 第三位 忠住 理子 (松岡少年剣道教室)
- 第三位 森川 沙恵 (福井少年剣道クラブ)

みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

福井養正館

福井養正館は現在、中学生10人、小学生（未就学児含む）26人で
 月曜日(中学生) 19時00分～20時40分
 火曜日(小学生) 18時30分～20時45分
 木曜日(小中学生) 19時00分～20時45分
 土曜日(小中学生) 18時30分～20時45分
 の週4日の稽古を行っております。

当館は平成五年四月二十日に設立され、初代館長である堤腰利雄先生のもと、敦賀市はもとより、若狭町や美浜町からも稽古に参加する子供もいました。

現在も、若狭町・美浜町・越前市・大野市から稽古に参加しています。

『養正館』館名の意味は、中国の古い書物である「易経」の中に「蒙以養正」という言葉があり、その意味は、真理を広めていく志をもち、正しい道徳心を養っていくものであり、教育の根本を示したものであります。

「養正」という言葉の意味は、
 ○正義の心を養うこと

○人間としてふみ行うべき正しい道を養うこと

○知・徳・体の調和のとれた人間を育てること

であり、日々の稽古を通じて、心の修行を目的に稽古を行っております。

福井養正館の稽古の始まりは、一人一人が道場に入るとき、今日の稽古の目標を大きな声で言ってから入ります。その日の稽古を無駄に終わらせないように先輩方が考え、今に引き継がれています。また、初代館長の教えでもある礼儀を大切にしています。

先生の1メートル前で、先生が立っていただければ座つてあいさつをすること、設立当初から今に至つても子供たちと保護者のみならず実践し



ています。

また、剣道だけでなく、地域の特別養護老人ホームでの清掃ボランティア活動やおじいちゃん・おばあちゃんとのふれあい活動、剣道の披露などの社会福祉活動も行っております。剣道の稽古を通じて何事にも負けずに挑戦していける心。そして社会奉仕活動などを通じて人にやさしくなれる心を育成し、子供たちと指導者・保護者が一体となつて成長していただける道場でありたいと思っております。

まだまだ歴史の浅い道場ではありますが、「全国制覇！」を夢に、先生方・お父さん・お母さんに感謝し、稽古に励んでいきたいと思っております。

明道中学校剣道部

明道中学校剣道部です。夏に3年生7人が引退した後、2年生が2人、1年生が5人、合計7人という少ない人数で活動しています。

小学校時代に剣道をした経験がなく、中学校から始めた部員も多いので、基本的なことを中心に練習していることが多いです。

私たちはまず「弱くても応援されるようなチームを目指す」ということを足掛かりとして、最終的には「強くて応援されるようなチームになれるといいな」と考えて日々稽古

しています。

まだまだ他のチームに力及ばず、試合をすると負けばかりですが、いいチームを目指して一生懸命稽古します。試合や稽古を一緒にするご縁があったら、ぜひよろしくお願ひします。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成三十年二月十一日(日)

於 越前市武道館

「初段」三十三名

- 清水 健介 (朝日中一年)
- 柏崎 雅己 (東陽中一年)
- 井上 皓太 (武生二一年)
- 若林 峻 (中央中一年)
- 田口 凜太郎 (明倫中一年)
- 北川 航太 (明倫中一年)
- 高橋 徹秋 (若原中一年)
- 藤原 匡之介 (今庄中一年)

